

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		学校支援地域本部事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木 敏明
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名	田中政吉
	基本事業	59	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1504
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	8
		1	10	5	1	11291		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H20 ~ H22 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地域全体で学校教育を支援し、学校と地域の連携体制を図り、多様な形態の教員支援を行う。文科省の10分の10の委託事業であり、県と市教委との委託契約後、市が合志南小学校区の実行委員会である「南っ子支援ボランティアの会」に補助し、事業を行う。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地域の教育力を強化し、地域全体で学校教育を支援するため、平成20年度から「学校支援地域本部事業」が文科省の委託事業として始まった。本市では合志南小学校がこの事業を希望したことから、平成20年度の途中からであるが事業に取り組んでいる。
【業務の流れ】	学校支援地域本部事業計画提出→事業採択後県と市で委託契約締結→県からの委託金交付→市が合志南小学校区の実行委員会「南っ子支援ボランティアの会」に補助金交付→事業終了後精算報告
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	老人会など地域住民の有志から、学校や子どもたちに「何か」を教えたい。または「何か出来ることを協力したい」との申し出が出ている。国受託事業のため3年間で事業を終了するために、事業継続する方策を検討している。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
○「南っ子支援ボランティアの会」実行委員会兼地域教育協議会の開催(10月・2月)	○「南っ子支援ボランティアの会」実行委員会兼地域教育協議会の開催(10月・2月)
○合志南校区での南っ子支援ボランティアの募集→ボランティア名簿の作成	○合志南校区での南っ子支援ボランティアの募集→ボランティア名簿の作成
○ボランティア総参加による、「南小フェスティバル」の開催	○ボランティア総参加による、「南小フェスティバル」の開催
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 人材バンクに登録された住民の数	人 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
合志南小学校区の住民	⇒ア (合志南小)校区内の人口 人
	⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
地域住民全体で子どもを教育する	⇒ア 地域住民が学校支援に協力した回数 回
	⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
地域子育て力の向上を図るために団体に補助をし、地域、学校、家庭がひとつになり学校教育を支援するにあたり、実施回数を設定している。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	
④ 活動指標	ア	人		60	70	74	80			
	イ									
	イ			8,000	8,050	9,079	9,100			
⑤ 対象指標	ア	人								
	イ									
⑥ 成果指標	ア	回		5	10	499	520			
	イ									
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円		321	941	941	1,022		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円				1	1		
	(A) 事業費計	千円	0	321	942	942	1,022	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1			
	延べ業務時間	時間		30	30	30	30			
	(B)人件費計	千円	0	120	119	119	119	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	441	1,061	1,061	1,141	0	0	

総トータルコスト	
全体計画	
H20 ~ H22 年度	2,205
(期間限定複数年度のみ記載)	2,205
	1
	90
	358
	2,563

合志市

事務事業名	学校支援地域本部事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>・2年目を迎え、認知度も高まり、事業目的である地域教育力の向上が1年間を通じて図れた。</p>
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 目的再設定    <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持			△		低下			△
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	△																			
	維持			△																			
	低下			△																			

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

--	--